

III-9 小児鼠径ヘルニアに対する腹腔鏡下経皮的腹膜外ヘルニア閉鎖術施行症例の検討

○木村 俊郎 須貝 道博 石戸 圭之輔 小林 完
齋藤 傑 三橋 佑人 袴田健一
(弘前大学医学部附属病院 小児外科¹)

III-10 血液透析患者 (HDP) における血中および毛髪中濃度からみた微量金属量の考察

○山谷金光¹、坪井滋¹、葛谷知佳子¹、米山美穂子¹、佐藤美沙季¹、齋藤久夫¹、畠山真吾²、大山力²、舟生富寿¹

(鷹揚郷腎研究所弘前病院¹ 弘前大・院医・泌尿器科学²)

【目的】血中微量金属類は、生体調節および体組成等に重要であるが、HDP における体内動態はあまりわかっていない。そこで、HDP について、血中および毛髪中濃度を測定し、健常人と対比してその過不足につき検討した。

【対象・方法】当院の血液透析施行中の患者 45 例 (年齢 64±12 歳) と健常人 52 例 (53±13 歳) を対象とし、PIXE 法により血中および毛髪中のアルミニウム、臭素、鉄、銅、亜鉛、セレン、鉛、クロム、水銀、ストロンチウム、コバルト、ニッケル、ガリウム、チタン、およびモリブデンの微量 15 元素含量を測定、検討した。

【結果】HDP では各血中濃度は健常人に比し、クロム、鉄、亜鉛、セレン、チタン、アルミニウムおよび臭素など約半数の元素の濃度は低かったが、水銀、鉛、コバルト濃度では高値であり、幅広く分布した。一方、毛髪中では、銅およびガリウム濃度がやや低値であった。

【まとめ】HDP では、微量金属類は健常人に比し、鉄、亜鉛、セレンなど半数の金属でやや低い傾向がみられ吸収の低下あるいは透析による除去が考えられたが、毛髪中の成績から、ほとんどの金属では健常人と差がなく、全体としてはほぼ維持されていると考えられた。

III-11 潰瘍性大腸炎術後短期成績と長期肛門機能から見た治療戦略の構築

○小笠原 紘志 坂本 義之 諸橋 一 三浦卓也
神 寛之 佐藤 健太郎 袴田 健一
(弘前大・院医・消化器外科学)